

逗子の景観まちづくり

瓦版 第七十一号

二〇二一年四月十五日 次号は七月発行予定

編集 逗子市環境都市部まちづくり景観課

協力 NPO法人逗子の文化をつなぎ広め深める会

募集 逗子の景観スケッチや六百五十字以内の

景観に関するコラム等を募集しています。

二四九・八六八六

逗子市逗子五丁目二番十六号

「逗子市まちづくり景観課 瓦版係」

電話 〇四六・八七三・一一一一

ファックス 〇四六・八七三・四五二〇

machi@city.zushi.lg.jp

『小坪みちくさ』

道は狭いよりは広い方が歩きやすい。運転もしやすい。けれど、散歩するなら断然狭い道の方が楽しい。



「小坪トンネル上」

逗子の小坪に住むようになって嬉しかったのは、起伏に飛んだ地形を車に邪魔されずに散歩できる細道がたくさんあること。当時保育園に通っていた子どもたちは、毎日、小さな子には考えられないくらいたくさんの距離をおさんぼして帰ってきていたので、休日はそのなおさんぼコースを子どもたちに教わりながら、もっぱら家の近くの道を親子で歩き回っていた。

私が「見つけた」みち。子どもたちが教えてくれたみち。みちをつないで広がっていく私の世界。子どもたちの世界。

歩いたところや見つけたお気に入りの場所を記録し始めたら、そんな楽しさを誰かにも教えてあげたくなって、絵地図を作ることを思いついた。結局完成までに10年もかかってしまったけれど、いろいろな方の応援もあってやっと昨年『逗子小坪みちくさMap』が完成。

絵地図を持って散歩してみたよ、の声や、自分のまちにもこんな絵地図が欲しいな、と言ってもらったり、知らなかった人たちに声をかけて頂くことも増えて私の世界はさらに広



「南町路地」

がっていく。絵地図をきっかけに、多くの人が自分のまちの魅力に気がついてくれたらうれしい。

人々が手で作り、歩いて暮らしていた昔からの歴史あるまちだからこそ、狭いけれども豊かな道がたくさんあるのが小坪の魅力。願わくばそんな道がいつまでも残って欲しい。

文・絵 宮崎 絵里

とこ とこ
ひとり まちあるき ～満開の春～

～「ちょこっとスケッチ」でおなじみ、木下俊延さんの作品展～

イベントやスポット
をご紹介します！

「瓦版」にも投稿していただいたことのある逗子在住の木下さんが心のおもむくままに描いたスケッチを約 150 点展示。



会 期：4月2日～28日（木曜休み）
10～18時まで ※入場無料
会 場：紡氣（逗子郵便局向かい）2階・中2階
主 催：チームつむぎ



棚の中にも
木下さんの絵が
たくさん！



春は散歩日和！たくさん歩こう～！

～『逗子小坪みちくさ Map』について～

表に文章と絵を寄稿いただいた宮崎絵里さんが作成したみちくさマップは、実際に宮崎さんが道を歩いてつくったというものです。A2サイズには道だけでなく、そこで見られる植物や鳥の絵なども描かれています。手にした人から「小坪で生まれ育ったのに知らない道がたくさんあった」と喜ばれたこと。また「道では静かに。知らない人でもぜひあいさつを」など、「みちくささんぽの心得」も書か

れています。

ほしい方は、池田通りの『とがり園芸』（046-871-2394）まで。

800円（税込み）です。残り少ないようですが、改訂版の制作も予定しているとか。また、昭和20年版も現在制作中です。

（←表紙です）



神武寺の三猿

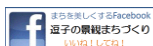
この庚申塔は、神武寺駅近く、池子神明社の消防分団の左上に凝灰岩の崖の穴の中に、角柱型の「六十六部供養塔」と並んで有ります。

『舟型で蓮台つきの台上に立つ安山岩の塔。縦書きで「為庚申供養造立之」とあり、すぐその下に右横書きで「道行方塔也」と刻んでいる。寛文九年十二月の建立で、市内では三番目に古い塔である。』と「逗子市文化財資料集路傍の石仏」に記されています。刻まれている「道」の文字は何とか読みとれました。前向きの三猿が明確にくっきりと美しく彫られ、この場で三百五十二年間堂々と私達を優しく見守っていることが嬉しくなりました。



文・絵 田中 慶美

瓦版編集担当 逗子市環境都市部まちづくり景観課



逗子市HPやフェイスブックも見てください！

瓦版のバックナンバー・瓦版冊子は逗子市庁舎一階、まちづくり景観課窓口、市民交流センターに配架しています。